

施策番号 3-3-2	施策名 高齢者福祉の充実	基本目標	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり			
		政策名	住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の充実			
	主管課	高齢者支援課	課長名	坂口 勝己	内線	156
	施策関係課	健康福祉課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
高齢者の方々の健康づくりや社会参加を推進し、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるような適切なサービスを提供します。		高齢者(65歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の健康づくりを推進する ・高齢者の活躍と社会参加の推進を図る ・暮らしの安心と不便の解消を図る ・適切なサービスを利用できるようにする 				高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度目標
①	高齢者にとって暮らしやすいまちだと思える高齢者の割合	%	77.5	61.3	72.3	66.6	81.8
②	やりがいのある趣味や運動、仕事に取り組んでいる高齢者の割合	%	56.6	69.3	68.3	68.9	64.2
③	芽室町の福祉サービスに満足している高齢者の割合	%	90.7	75.9	84.4	71.4	92.0
④							
成果指標設定の考え方		① 高齢者が暮らしやすさを感じる客観的数値を捕捉する必要があり、成果指標に設定した。 ② 活動的な高齢者の割合が増えることが介護予防につながることから、成果指標に設定した。 ③ 町内で提供される福祉サービスに対する高齢者の満足度を捕捉する必要があり、成果指標に設定した。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) 各成果指標とも策定時の数値を上回ることを目指し、目標値を設定した。					

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算	2021年度決算
施策事業費(千円)	1,795,892	1,899,174	1,937,565	1,902,413
人工数(業務量)	10.3883	10.2964	9.8679	8.5618

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2021年度の成果評価(前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標②は介護予防事業や高齢者団体への活動支援等によるもの、①・③は高齢者の足の問題が顕在化しているほか、介護保険料の改定や新型コロナウイルス感染症対策が影響したものと考えている。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	成果指標②は、介護予防体制の充実を図りながら、更に向上の上で達成可能と考える。 ①・③は介護保険制度や介護予防の重要性の理解を求める活動や、介護サービス体制維持の支援や支えあいの町づくりの推進を図ることにより、成果指標の向上を図ることはできるが、目標値との乖離が大きいため見直しが必要と考える。
(2) 施策の成果評価に対する2021年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	地域包括支援センター運営事業 介護予防教育相談事業 介護予防教室開催事業 支えあいの町づくり人材育成事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「地域包括支援センター運営支援事業」→介護予防支援事業、総合相談業務、権利擁護事業、包括的ケアマネジメント業務を通じて、高齢者の心身機能の維持・向上に取り組んだ。また、令和4年度からの民間委託に向けた準備を行った。 ・「介護予防教育相談事業」→各種団体への健康講座や健康相談の実施したほか、健康状態不明者や活動休止者への訪問を実施し、社会参加の促進や孤立化防止を図った。 ・「介護予防教室開催事業」→心身の状況が変化しても途切れのない予防支援体制を整えるため、新たに気軽に通える介護予防教室を導入し、自身の身体機能把握、運動や介護予防の意欲向上を促した。 「支えあいの町づくり人材育成事業」→介護基盤の安定化を目指すため、介護事業者と意見交換を図りながら介護人材確保の取り組みや、教育分野や各種団体に介護事業の必要性について理解を求める取り組みを実施した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	介護予防事業の実施や介護予防の重要性を啓蒙する活動を通じ、高齢者の健康づくりや社会参加が図られ、また、相談業務を通して、高齢者の状況に応じた適切な介護サービス提供が図られたと考える。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口の増加、人口減少、世帯構造の変化 ・介護基盤を担う人材確保の深刻化 ・新型コロナウイルス感染症対策の長期化 <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口増加に伴い介護サービス需要が増加し、人口減少や世帯構造の変化に伴い複雑化する問題が増加する ・現役世代減少に伴い、安定した介護保険制度の継続や人的基盤確保が更に課題となる
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>町民から：移動手段の確保について意見がある。</p> <p>介護事業者から：介護人材の確保に非常に苦勞している旨の意見がある。</p> <p>議会から：介護人材不足の対応策について検討が必要であるとの意見がある。</p>

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<p>多くの町民の共通の願いである「できる限り住み慣れた地域で暮らしたい」ことの実現のため、「介護予防と生活支援、介護・医療」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の推進を図るため、特に次の事業について取り組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まる元」運動教室をはじめとした切れ目のない介護予防事業の実施 ・健康状態不明者等、潜在する支援が必要な方への訪問による、社会参加促進及び孤立化防止 ・各種団体への訪問による、健康教育や健診受診勧奨 ・社会的支援を要する制度の狭間にある困難ケース増加への対応 ・安定的な介護サービス体制確保のための、介護事業の魅力発信や制度啓発、介護人材の量的確保の支援

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取組及びリカレント教育などにより成果指標②を向上させる取組を検討してください。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	担当課評価、庁内評価同様に、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・5に記載の具体的な取組み5項目を進めてください ・支援されていると思うのではなく、役目があることで元気でいられる取組みが考えられると良い ・近所での助け合いが普通になる取り組み、学生も若者も参加できる助け合いの生活になると良い ・いつまでも在宅で暮らしていけるために、継続して介護予防の取組、社会参加の機会の充実を図ってください 	<p>A: 実現した</p> <p>B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した</p> <p>E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					